



2025年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月14日

上場会社名 株式会社セラク 上場取引所 東
コード番号 6199 URL <http://www.seraku.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役 （氏名）宮崎 龍己
問合せ先責任者 （役職名）常務取締役執行役員経営管理本部長 （氏名）小関 智春（TEL）03(3227)2321
半期報告書提出予定日 2025年4月14日 配当支払開始予定日 ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2025年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年9月1日～2025年2月28日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年8月期中間期	12,295	13.6	1,365	22.0	1,388	23.4	918	19.4
2024年8月期中間期	10,825	6.5	1,119	2.6	1,125	△12.3	769	△10.0

（注）包括利益 2025年8月期中間期 917百万円（19.5％） 2024年8月期中間期 767百万円（△10.0％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期中間期	68.08	67.95
2024年8月期中間期	55.42	55.34

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年8月期中間期	12,486	8,420	67.2
2024年8月期	12,052	7,762	64.2

（参考）自己資本 2025年8月期中間期 8,386百万円 2024年8月期 7,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2025年8月期	—	0.00			
2025年8月期（予想）			—	13.20	13.20

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	24,500	10.3	2,550	12.1	2,550	10.0	1,720	9.2	127.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年8月期中間期	13,834,000株	2024年8月期	13,833,300株
2025年8月期中間期	372,470株	2024年8月期	315,770株
2025年8月期中間期	13,499,237株	2024年8月期中間期	13,886,065株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式付与 ESOP信託口」が保有する当社株式が含まれております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結損益計算書に関する注記)	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、各種政策の効果もあって、緩やかに回復しております。一方、物価上昇や米国の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響など、依然として先行き不透明な景況が続いております。

当社グループが主にサービスを提供する情報産業分野においては、デジタル技術の進展・普及に伴い、あらゆる産業で企業の生産性向上や競争力強化を目的としたIT・DX関連のニーズは高まっており、クラウドを活用したシステムインテグレーションやシステム運用・保守等へのIT投資需要は堅調に推移いたしました。最適なITインフラが企業の経営戦略を支える重要な役割を担うなど、ITサービス・IT人材への需要は拡大している一方、国内のIT人材不足やITスキル向上には大きな課題を有しております。当社グループでは、質の高いITエンジニアの採用・育成に取り組むとともに、事業会社や大手SIerから受注した案件を当社の案件紹介型プラットフォーム（セラクパートナープラットフォーム）上で1,500社超のパートナー企業と共有・連携し、様々なITサービスの提供を行っております。

このような環境の下、良質なエンジニアの育成等によるサービスの価値向上に取り組むほか、ビジネスパートナーリソースの活用も含め、IT・DX領域の社会実装と運用を担う「デジタルインテグレーター」としての事業基盤の整備を行いました。

これらの結果、当社グループの売上高は12,295,496千円（前年同期比13.6%増）、営業利益は1,365,247千円（前年同期比22.0%増）、経常利益は1,388,664千円（前年同期比23.4%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は918,986千円（前年同期比19.4%増）となりました。

また、事業分野別のセグメント概況は、以下のとおりであります。

① デジタルインテグレーション事業

デジタルインテグレーション事業において、SI（システムインテグレーション）領域ではITインフラソリューションとしてITシステムの構築・運用・保守を手掛けております。また、DX（デジタルトランスフォーメーション）領域では顧客管理・営業管理システム「Salesforce」や統合人事システム「COMPANY」を中心とするクラウドシステムの導入・運用・定着化支援を手掛けるほか、IoTクラウドサポートセンターにおける24時間365日体制でのクラウドインフラやIoTサービスの運用の提供、法人向けChatGPT導入・活用支援サービス「NewtonX」を取り扱っております。

当中間連結会計期間において、ビジネスパートナーの活用が堅調に推移したことに加え、SI領域では底堅いIT投資需要のもと、エンジニア育成を通じたサービスの拡充と付加価値向上に努めました。また、DX領域では「Salesforce」、「COMPANY」を中心としたクラウドシステムの運用・定着支援が好調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は11,843,706千円（前年同期比14.2%増）、セグメント利益は1,399,812千円（前年同期比24.8%増）となりました。

② みどりクラウド事業

みどりクラウド事業において、ITを用いて農業・畜産・水産のDX化を支援する「みどりクラウド」「ファームクラウド」などのプラットフォームサービス、一次産業をはじめとした各産業分野の個別課題を解決するソリューションサービスを展開しております。

当中間連結会計期間においては、先行投資として青果流通の現場にバーコードやクラウドシステムなどを用いたデジタル技術を導入する「みどりクラウドらくらく出荷」の拡販に注力し、複数JAで導入に向けた取り組みが進行しております。

これらの結果、当セグメントの売上高は136,351千円（前年同期比9.9%減）、セグメント損失は49,318千円（前年同期はセグメント損失28,032千円）となりました。

③ 機械設計エンジニアリング事業

機械設計エンジニアリング事業において、連結子会社である株式会社セラクビジネスソリューションズでの3DCAD分野の技術、実験や性能検査などの品質管理に関わる技術、通信建設及び情報通信に関する技術を提供しております。

当中間連結会計期間においては、将来の組織拡大に向けたエンジニアの採用・育成に注力するとともに、高い水準で稼働率を維持しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は374,510千円（前年同期比5.2%増）、セグメント利益は4,415千円（前年同期比74.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ434,786千円増加し12,486,908千円となりました。これは主に、現金及び預金が232,075千円、仕掛品が190,289千円減少したものの、土地が613,061千円、売掛金及び契約資産が175,313千円、流動資産「その他」が128,913千円、保険積立金が80,162千円、建物が34,352千円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ223,515千円減少し4,065,992千円となりました。これは主に、未払金が72,932千円、未払法人税等が36,354千円増加したものの、賞与引当金が57,848千円、流動負債「その他」が43,221千円、長期借入金が34,562千円、未払消費税等が35,506千円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ658,301千円増加し8,420,915千円となりました。これは主に、利益剰余金が743,258千円増加し、自己株式が112,174千円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という）の残高は、6,611,409千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、705,366千円（前年同期は258,638千円の収入）となりました。

主な要因は、法人税等の支払額412,072千円、売上債権の増加額179,428千円、前払費用の増加額93,631千円、未払金の減少額81,176千円等の資金の減少要因があったものの、税金等調整前中間純利益1,388,468千円の増加要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、632,977千円（前年同期は155,937千円の支出）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出541,787千円、保険積立金の積立による支出80,162千円、敷金及び保証金の差入による支出11,192千円等の資金の減少要因が生じたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、305,067千円（前年同期は420,397千円の支出）となりました。

主な要因は、配当金の支払額175,631千円、自己株式の取得による支出88,474千円、長期借入金の返済による支出40,442千円等の資金の減少要因が生じたことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期の業績予想につきましては、2024年10月15日の「2024年8月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,896,690	6,664,615
売掛金及び契約資産	2,740,887	2,916,201
仕掛品	219,097	28,808
原材料	47,055	43,351
その他	183,469	312,382
貸倒引当金	△1,856	△2,051
流動資産合計	10,085,344	9,963,307
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	195,904	230,257
工具、器具及び備品（純額）	55,356	50,704
土地	—	613,061
その他	133,636	2,825
有形固定資産合計	384,897	896,849
無形固定資産		
ソフトウェア	435	255
のれん	124,827	111,965
その他	1,807	1,807
無形固定資産合計	127,070	114,028
投資その他の資産		
投資有価証券	3,496	3,496
繰延税金資産	532,306	511,935
敷金及び保証金	332,158	337,376
保険積立金	465,282	545,445
その他	121,565	118,582
貸倒引当金	—	△4,115
投資その他の資産合計	1,454,809	1,512,721
固定資産合計	1,966,777	2,523,600
資産合計	12,052,121	12,486,908

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	262,363	274,942
1年内返済予定の長期借入金	39,204	33,324
未払金	1,461,721	1,388,788
未払法人税等	441,369	477,724
未払消費税等	385,225	349,718
賞与引当金	1,215,100	1,157,252
受注損失引当金	468	—
その他	318,650	275,429
流動負債合計	4,124,102	3,957,178
固定負債		
長期借入金	45,698	11,136
退職給付に係る負債	91,382	88,978
その他	28,325	8,700
固定負債合計	165,405	108,814
負債合計	4,289,507	4,065,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	311,269	311,725
資本剰余金	309,835	333,991
利益剰余金	7,482,934	8,226,192
自己株式	△374,518	△486,693
株主資本合計	7,729,520	8,385,216
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	2,474	1,237
その他の包括利益累計額合計	2,474	1,237
新株予約権	30,619	34,462
純資産合計	7,762,614	8,420,915
負債純資産合計	12,052,121	12,486,908

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
売上高	10,825,441	12,295,496
売上原価	8,136,643	9,018,243
売上総利益	2,688,798	3,277,252
販売費及び一般管理費	1,569,687	1,912,004
営業利益	1,119,110	1,365,247
営業外収益		
受取利息及び配当金	817	2,890
助成金収入	4,490	—
不動産賃貸料	—	1,457
保険解約返戻金	—	5,216
補助金収入	—	15,127
その他	1,642	116
営業外収益合計	6,950	24,807
営業外費用		
支払利息	473	262
支払手数料	405	1,121
その他	—	7
営業外費用合計	878	1,391
経常利益	1,125,181	1,388,664
特別利益		
新株予約権戻入益	353	19
特別利益合計	353	19
特別損失		
投資有価証券評価損	3,339	—
固定資産除却損	89	215
特別損失合計	3,428	215
税金等調整前中間純利益	1,122,106	1,388,468
法人税、住民税及び事業税	333,402	448,565
法人税等調整額	19,077	20,916
法人税等合計	352,479	469,482
中間純利益	769,627	918,986
親会社株主に帰属する中間純利益	769,627	918,986

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
中間純利益	769,627	918,986
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	—
退職給付に係る調整額	△1,828	△1,237
その他の包括利益合計	△1,848	△1,237
中間包括利益	767,778	917,749
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	767,778	917,749

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,122,106	1,388,468
減価償却費	20,778	25,939
のれん償却額	—	12,861
新株予約権戻入益	△353	△19
投資有価証券評価損益(△は益)	3,339	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	4,310
賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,276	△76,648
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6,560	△4,187
受取利息及び受取配当金	△817	△2,890
助成金収入	△4,490	—
補助金収入	—	△15,127
支払利息	473	262
固定資産除却損	—	215
売上債権の増減額(△は増加)	△15,157	△179,428
棚卸資産の増減額(△は増加)	11,830	193,993
前払費用の増減額(△は増加)	△42,482	△93,631
仕入債務の増減額(△は減少)	6,571	12,578
未払金の増減額(△は減少)	△97,777	△81,176
未払消費税等の増減額(△は減少)	△212,640	△35,506
その他	△52,496	△49,962
小計	723,046	1,100,051
利息及び配当金の受取額	694	2,448
利息の支払額	△468	△187
助成金の受取額	4,490	—
補助金の受取額	—	15,127
法人税等の支払額	△469,123	△412,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	258,638	705,366
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△600	△603
有形固定資産の取得による支出	△23,958	△541,787
保険積立金の積立による支出	△82,650	△80,162
敷金及び保証金の差入による支出	△50,855	△11,192
敷金及び保証金の回収による収入	927	768
定期預金の払戻による収入	1,200	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△155,937	△632,977
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△16,662	△40,442
自己株式の取得による支出	△266,987	△88,474
リース債務の返済による支出	△353	△353
配当金の支払額	△141,644	△175,631
新株予約権の発行による収入	1,947	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	4,068	599
その他	△766	△766
財務活動によるキャッシュ・フロー	△420,397	△305,067
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△317,696	△232,678
現金及び現金同等物の期首残高	6,814,417	6,844,087
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,496,720	6,611,409

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
役員報酬	50,898千円	63,729千円
給料手当	640,668千円	739,384千円
賞与	△4,551千円	4,959千円
賞与引当金繰入額	130,335千円	134,255千円
役員退職慰労引当金繰入額	一千円	△18,800千円
法定福利費	125,114千円	136,363千円
減価償却費	12,398千円	17,787千円
採用費	107,889千円	158,063千円
貸倒引当金繰入額	0千円	4,310千円

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
現金及び預金	6,548,723千円	6,664,615千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△52,002千円	△53,206千円
現金及び現金同等物	6,496,720千円	6,611,409千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額(注1)	中間連結損益計算書計上額(注2)
	デジタルインテグレーション	みどりクラウド	機械設計エンジニアリング	計			
売上高							
外部顧客への売上高	10,366,591	151,262	307,586	10,825,441	10,825,441	—	10,825,441
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	48,312	48,312	48,312	△48,312	—
計	10,366,591	151,262	355,899	10,873,753	10,873,753	△48,312	10,825,441
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,121,892	△28,032	17,270	1,111,130	1,111,130	7,980	1,119,110

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△48,312千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額7,980千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間（自 2024年9月1日 至 2025年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額（注 1）	中間連結 損益計算書 計上額（注 2）
	デジタルイ ンテグレー ション	みどりクラ ウド	機械設計 エンジニア リング	計			
売上高							
外部顧客への売上高	11,843,706	136,351	315,439	12,295,496	12,295,496	—	12,295,496
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	59,071	59,071	59,071	△59,071	—
計	11,843,706	136,351	374,510	12,354,567	12,354,567	△59,071	12,295,496
セグメント利益又はセグ メント損失（△）	1,399,812	△49,318	4,415	1,354,909	1,354,909	10,338	1,365,247

（注）1. セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額には、セグメント間取引消去△59,071千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額10,338千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に関わる重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

3. 補足情報
(販売実績)

区分	前連結会計年度		当連結会計年度		対前年同期 増減率(%)
	売上高(千円)	構成比(%)	売上高(千円)	構成比(%)	
システムインテグレーション	7,205,917	66.6	8,075,805	65.7	12.1
デジタルトランスフォーメーション	3,160,674	29.2	3,767,900	30.6	19.2
みどりクラウド	151,262	1.4	136,351	1.1	△ 9.9
機械設計エンジニアリング	307,586	2.8	315,439	2.6	2.6
計	10,825,441	100.0	12,295,496	100.0	13.6